

高齢者の生活支援の現状と課題について問う

新型コロナウイルス感染症の影響により自粛が強いられ、高齢者・生活弱者には多様なサービスも自粛され、地域の支え合い活動の取り組みが困難となっている。

生活支援に必要なことは、緊急時の対応だけではなく日頃の相談体制が充実していることであり、専門的人材の協力が不可欠である。2025 年には団塊世代が 75 才になり、高齢者の独居者はさらに増加する。開成町においてもしっかりとした対応が必要である。

本町においてもさらなる見守りの強化が必要であると思われる。また財政的にもコロナの影響で苦しい状況の方も心配される。

以上のことから高齢者の生活の見守り、また生活困窮者自立支援について問う。

- 1 度重なる緊急事態宣言下、救済が必要な方をどのように情報収集し、またどのような状況になっているのか。
- 2 高齢者に対する財政的な生活支援策は。
- 3 今後はさらに増えると思われる高齢者の一人暮らし、町と関係組織との情報共有の在り方は。